

提案名	信州に根ざした愛着を育む住まいづくり『工房信州の家』	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	株式会社フォレストコーポレーション	種別	システム提案
構造	木造住宅（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

弊社では、従来より長野県産材を使用した住宅である「工房信州の家」を提供してきており、平成15年には、「信州木づくりの家」の認定を長野県からいただくと共に、長野県独自の性能評価である「ふるさと信州 環の住まい」（平成22年より開始）の基準を標準とした良質な住まいを長野県内を中心に提供しています。弊社では、こうした実績や従来から培ってきた技術をもとに「信州に根ざした愛着を育む住まいづくり『工房信州の家』」を提案しました。

今回の提案は、高耐久・高耐用・高耐震性能及び省エネルギー性能を満たした上で、信州の気候・風土に根ざし、社会状況の変化、自然災害、住まい手のライフサイクルやライフスタイルの変化に柔軟に対応し、信州の地で信州の暮らしを楽しみながら親から子へ、そして孫の世代まで愛着をもって住み継いでいただける住まいづくりを目指します。更に、弊社では住まいづくりのみならずまちづくりに関しても積極的に提案し、信州の特性（豊かな自然環境や慣習）を活かした街並み形成、ご近所付き合い、環境共生等、地域や信州の自然にも愛着のわく暮らしや住まい方を提供していきます。弊社では、こうしたハードとソフトの両面からの提案により、低炭素社会や循環型社会の形成に寄与し、住まい手が自分の住まいや地域に「愛着」を育みながら住まい続けられると共に、地域の活性化や安心・安全、自然（森林）環境の保全に寄与する住まいづくりを目指します。

■提案内容

1. 長野県産材を使用した耐久性の高い住まいづくり

「工房信州の家」では長野県産材を約80%使用しています。長野県産材を使用することによって、長野県の森林整備に寄与することができ、また林業家や素材生産業者から建設業者までの循環社会が形成されています。また、天然乾燥材による住宅づくりに取り組み、本来の木が持っている色やつや、香りを保ち、長野県産材の良さをアピールすると同時に、乾燥にかかるエネルギー消費量を削減し、CO₂排出量削減にも繋がっています。また、地場産材を使うことで輸送エネルギー量削減、CO₂排出量削減にも寄与します。

加えて「工房信州の家」では信州の豊富な森林資源を最大限に活用し、信州材（信州木材製品認証材）をふんだんに使い、構造材を太くするなど、躯体の剛性や耐久性を向上させ、万が一の被災時にも住まい手の安全を確保します。更に、建てる土地と同じ気候風土の中で育った木材を使用することで、その地域独特の湿度や寒暖の差をより吸収しやすくし、構造材としての適合性を上げています。また、壁体内通気工法（エアパス工法）により耐腐朽性能を高めています。

2. 自然素材による健康で味わいのある住まいづくり

長野県産材の使用も自然素材の1つですが、内装の仕上げにおいても板張りや珪藻土の塗り壁を使用しています。これらの仕上げ材によってシックハウスとは無縁な住宅を提供しています。これらの仕上げでは職人の技術が不可欠となっており、職人の育成や技術の継承にも関わり、川下である業者間でのさらに細かい循環社会の形成に繋がっています。工房信州の家は地場産材を使用した耐久性の高い躯体、自然素材で作られた温もりがあり快適で健康性能・環境性能の高い住まいづくりを行っています。



平成18年に弊社と地元の製材会社が協働して建設した、「工房信州の家」専用の「天然乾燥ストックヤード」



3. 住まい手参加による「愛着」を育む住まいづくり

「工房信州の家」では住まい手が積極的に家づくりや住まいの手入れ・メンテナンスに関わっていただくために、NPO 法人森の座と協同して、住まい手自ら山に入っただき、住まいに使用する木材をご自分で選定していただくと共に、ご自分で山を所有している方に対しては自分の山の木を使用しての家づくりを推奨しています。更に、施工中は住まい手も参加の立会い検査（全9回）を実施するなど、住まい手とつくり手の協同・協働により、住まい手が住まいに関心を持ち愛着を持って、住み続けていただける住まいづくりを行なっていきます。また、住まい手自らメンテナンスを行なう際の負担を軽減するために、深い軒や付け庇によって外壁・サッシの劣化影響をやわらげたり、床下空間の有効高さを500mm以上確保し床下点検口を複数設置するなどの配慮を行います。更に、工房信州の家の深い軒の出による外観は、外壁やサッシの劣化影響をやわらげるだけでなく、安心感のある信州らしい街並みの形成に寄与します。



施工中进行う住まい手参加での立会い検査



自分の山の木を使用しての家づくり



深い軒の出と付け庇の設置

4. 信州の気候・風土・慣習に根ざした住まいづくり

信州のように農家が多い地域では「土間」は不可欠であったものの、生活の変化から消えつつあるスペースです。「工房信州の家」では「土間」を信州の住文化の一つとして考え、信州らしい間取りの提案として「土間サロン」を標準仕様とすると共に、暖房に使うエネルギー量の多い長野県の地域特性を考慮し「薪ストーブ」も標準仕様としています。こうした「土間サロン」や「薪ストーブ」のある暮らしの中で、家族間だけでなく信州の自然や近隣の人とのふれあいを深め、住まいだけでなく住んでいる地域や信州の自然への愛着を育みます。「土間サロン」や「薪ストーブ」を囲んで家族みんなで話し合ったり、団欒したり、家族のコミュニケーションが深まる暮らし方や良好な近隣コミュニティを育み地域に見守られた安心・安全な暮らし方も「信州らしい暮らし」のひとつとして提案します。更に化石燃料ではなく、薪（間伐材使用）という天然バイオマスエネルギーの利用により、森林循環の再生、CO₂排出量の削減にも貢献します。



住まいの内と外をつなぐ土間サロン



薪ストーブ

5. 愛着を持ち、永く住み続けるためのメンテナンスシステムの導入

「工房信州の家」では、住まい手が点検しやすく、メンテナンス負担を軽減するために、床下空間の有効高さ500mm以上、床下空間へのLED照明設置、壁点検口の設置等の様々な工夫と共に、住まいをより長くより快適にお住まいいただくために、12年間毎年の点検を各お住まいにおいて住まい手と共に行ないます。1年に一度、専門の職人の方による修繕と修繕の指導をいただく「家まるごとリフレッシュデー」を設け、毎年少しずつメンテナンスを進めていき、数年で一通りのメンテナンスを住まい手自身が行なえるようにしていきます。また、点検やメンテナンスの記録はメンテナンスブックを作成して、弊社と住まい手が同じものを持ち、共有していきます。自分の家を家族みんなでメンテナンスすることにより、家に対する愛着も深くなります。

■提案者からのコメント

株式会社フォレストコーポレーションでは、「信州に根ざした愛着を育む住まいづくり」に取り組みます。信州の木を使用した住宅を建設し、更に、信州の森林整備の際に伐採された間伐材を薪として利用するために薪ストーブを提案します。これらのことにより、信州の森林整備に寄与することができます。信州では昔から土間のある暮らしを営んできたわけですが、土間をより現代的に取り入れた住宅を提案し、信州らしい暮らしや住宅を継承できればと考えています。また、お住まいになる方々自身がメンテナンスを行なっていただけるような仕様やアフターメンテナンスの体制をとることによって、永く愛着を持ってお住まいいただける住宅を提案いたしました。